

PKSHA と 東北大学言語 AI 研究センターが 共同研究を開始

大規模言語モデルに基づく言語コミュニケーション技術の高度化をテーマに研究、先端技術の社会実装を目指す

株式会社 PKSHA Technology（読み：パークシャ・テクノロジー、本社：東京都文京区、代表取締役：上野山 勝也、以下 PKSHA）は、東北大学言語 AI 研究センター（センター：仙台市青葉区、センター長：鈴木 潤、以下言語 AI 研究センター）と、自然言語処理技術に関わる共同研究を 2024 年 6 月より開始したことをお知らせします。本共同研究は、両者の知見と技術力を結集し、自然言語処理（NLP）技術の更なる発展を目指します。PKSHA Technology は「未来のソフトウェアを形にする」というミッションのもと、自然言語処理技術等の独自技術を基盤にした AI の研究開発を行い、その社会実装を通じて価値を提供してまいります。



LangAI

東北大学言語 AI 研究センター
Center for Language AI Research, Tohoku Univ.



PKSHA
TECHNOLOGY

◆共同研究の背景と目的：

PKSHA は、これまでに自然言語処理や機械学習、深層学習技術を用いたアルゴリズムソリューションを提供し、多くの企業とともに AI の社会実装を行ってきました。一方、東北大学言語 AI 研究センターは、生成 AI の一般普及以降の AI 新時代において、その動作原理の究明および新学術領域創成を担う世界的 AI 研究拠点を形成すべく 2023 年 10 月に新設され、今後 AI の領域で更なる研究成果をあげることが期待されています。今回の共同研究は、大規模言語モデルに基づく言語コミュニケーション技術の高度化をテーマに、社会実装に根ざした PKSHA の研究開発技術と、センターの先進的な研究開発力とのシナジーにより、新たな自然言語処理技術の開発と実用化を加速することを目的としています。

本共同研究により、PKSHA と東北大学言語 AI 研究センターは、自然言語処理技術の新たな領域を開拓し、AI 技術の進展を通じて、社会全体の利便性向上や新たな価値創造に貢献することを目指します。

◆PKSHA の自然言語処理の分野における実績について

ソフトウェアの社会実装に取り組む PKSHA では、ビジネスを展開するソリューション事業、AI SaaS 事業を支える根幹として、先端技術の研究・開発に創業初期より注力をしています。研究開発の領域では、日本マイクロソフト支援のもと日英大規模言語モデル RetNet の研究開発を行った他、日本語オープンドメイン質問応答技術の研究開発や、高精度な日本語/多言語文埋め込みモデルの開発・公開等、自然言語処理分野において多角的に取り組みを進めています。

また、生成 AI の発展以降、生成 AI 及び大規模言語モデルの実用化を支援する独自モジュールである「PKSHA LLMS(※)」を開発した他、2024 年 3 月には日本マイクロソフト支援のもと RetNet を活用した独自 LLM の開発を行いました。それらの要素技術を用い、生成 AI を活用したお客様の課題解決や、それらを活用したプロダクト開発を行っています。

◆東北大学の自然言語処理の分野における実績について

東北大学は、自然言語処理の分野で国内最大級の研究グループを有し、世界的に認められた実績を誇っています。NAACL、ACL、EMNLP など、自然言語処理分野の最高峰の国際会議で多数の論文が採択

されており、その研究力の高さが裏付けられています。新設された言語 AI 研究センターは、これらの優れた研究者を中心として力を結集し、生成 AI を含む高度な AI 技術の開発と応用を推進する役割を担います。さらに、AI アラインメントやセーフティ研究の強化、AI 駆動型研究の推進など、幅広い領域で AI 技術の発展に貢献することが期待されています。

◆東北大学言語 AI 研究センター センター長 鈴木潤教授のコメント

東北大学言語 AI 研究センターでは、昨今の AI 基盤の中心的な技術である大規模言語モデル (LLM) の効果的かつ効率的な構築方法や LLM の動作原理の解明に向けた基盤研究に取り組んでいます。これまでの LLM 関連の研究により培われてきた経験や知見を、株式会社 PKSHA Technology が持つ AI 関連技術の強力な社会実装力や豊富な社会課題対応経験と融合することで、生成 AI が一般普及した AI 新時代においても、社会全体のさらなる価値創造や利便性向上に資する技術やサービスを創出する研究に取り組んでまいります。

※ PKSHA LLMS について：「PKSHA LLMS」は複数の大規模言語モデル (LLM) を統合的にカスタマイズできる環境を提供するソリューションです。

◆東北大学 言語 AI 研究センターについて

センター名 : 東北大学 言語 AI 研究センター
センター所在地 : 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6 番 3 号 09
代表者 : センター長 鈴木潤
URL : <https://langai.tohoku.ac.jp/>

◆PKSHA Technology について

「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに、企業と人の未来の関係性を創るべく自社開発した機械学習／深層学習領域のアルゴリズムを用いた AI ソリューションの開発・AI SaaS の提供を行っています。自然言語処理技術を用いた自動応答や、画像/動画認識、予測モデルなど多岐に渡る技術をベースに顧客の課題にあわせた解決策を提供する他、共通課題を解決する AI SaaS の展開により、ソフトウェアの社会実装を多面的に支援し、人とソフトウェアが共に進化する豊かな社会を目指します。

会社名 : 株式会社 PKSHA Technology
所在地 : 東京都文京区本郷 2-35-10 本郷瀬川ビル 4F
代表者 : 代表取締役 上野山 勝也
URL : <https://www.pkshatech.com/>

◆本件に関するお問合せ
pr@pkshatech.com